



歯科医院名は「ノアの箱舟」が由来



柔らかなイメージの待合室



3階のワンフロアがすべて「ノア歯科」

# 歯を通して全身の健康を守る 包括的な治療に夫婦で力を合わせる

東京・中目黒駅前にある「ノア歯科クリニック中目黒」は、歯の健康を通して、全身の不調の改善も目指す歯科医院だ。開業準備からこれまでの歩みを伺ってみた。

ノア歯科クリニック 院長 坂田 堯久 先生  
中目黒 副院長 坂田 佳奈 先生



## 難病体験が全身の健康に 目を向けるきっかけに

東急線・日比谷線中目黒駅のホームに立つと、「ノア歯科クリニック中目黒」(以下、ノア歯科)の看板がちょうど目の高さにあることに気づく。駅前ビルの3階にある同医院は、都市部の歯科医院として絶好のロケーションだ。「ノア歯科」がオープンしたのは、2017年。院長の坂田堯久先生と奥様で副院長の坂田佳奈先生は、大学時代から二人三脚で開業を目指してきた。「大学生の頃から早く開業したいという気持ちがありました。私の実家が自営業だったこともあり、起業することに憧れがあったんです」と堯久院長は話す。その思いは、後輩だった佳奈副院長と人生を共にする決意をしたことで、さらに強くなった。「ノア歯科」の診療方針は、口腔だけを診るのではなく、歯を通して全身を健康にすることだ。そのために、ジルコニアやセラミックなど、金属を使わずに補綴や審美治療を行ったり、歯科材料や滅菌・消毒にも細心の注意を払っている。

堯久院長が全身の健康に目を向けることになったきっかけには、自身の体験が大きく影響している。

堯久院長は中学生の頃、クローン病に罹患した。大腸と小腸に慢性的な炎症・潰瘍を起こす炎症性腸疾患で、指定難病の一つだ。原因は不明だが、先進国に多く、北米やヨーロッパで発症率が高いことから、衛生環境や食生活が影響すること、とくに動物性脂肪やたんぱく質の多量摂取などが関係していると考えられている。「大量の治療薬を飲んでいましたし、体型もじつはかなり太っていたんです。それが妻と出会ったことで人生が変わりました。最初に食事の改善を勧められたのです。妻は高校時代にモデルの仕事をしていたこともあり、健康と食事の関係がいかに深いかをよく知っていたからです」(堯久院長)

食品添加物や農薬などの化学成分をできる限り避け、生育のプロセスが明確な有機栽培の野菜などを自炊して食べる生活に切り替えたところ、徐々に症状が改善。その後に佳奈副院長が学んだ栄養学と歯科治療を併用することで、今では薬に頼らずに生活できるほどに、回復したという。「体はすべて食事から採り入れる栄養で作られています。そして、口の健康は食事との関係が深い。歯科医師ですから実際に治療するのは口腔になりますが、口腔内の炎症が全身の炎症や病気のもとになることがあるのです。私たちは全身の健康を常に意識して日々の診療にあたっています。」(堯久院長)